

物価上昇実感89%

日銀6月調査、14年ぶり水準

1年後「上がる」も高く

日銀が6日発表した6月の生活意識アンケートによると、現在の物価が1年前と比べて「上がった」と回答した人の割合は89・0%に達した。前回の3月調査から7・8倍上昇して2008年9月以来約14年ぶりの水準だった。1年後に物

価が「上がる」と予想する人は87・1%で前回から2・8倍高く、08年6月以来の水準。物価高はウクライナ危機や円安が背景にあり、その対策が10日投票開票の参院選の大きな争点になっている。

調査は5月6日～6月1日、全国の20歳以上の4千人を対象に実施し、219人から回答を得た。

物価が1年前と比べてどの程度変化したと想つかない、平均ではプラス8・1%だった。1年後の予測

の平均はプラス8・3%となり、物価上昇が続くとの見方が広がっている。

生活意識アンケートの物価上昇率は生活必需品の値動きに左右されやすく、多くの項目

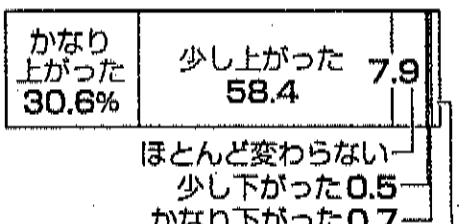
を網羅した消費者物価指数

よりも高くなる傾向がある。

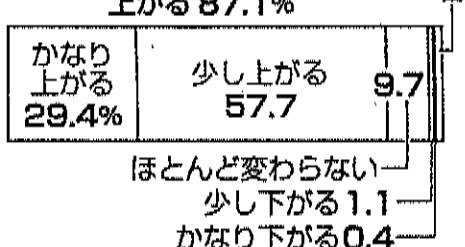
現在の暮らし向きが1年前と比べて「よじがなくなってきた」との回答は、

生活意識アンケート 日銀が個人の意識や行動を大まかに把握するため、3・6・9・12月の年4回実施している世論調査。景気や暮らし向き、物価、雇用などに関する生活実感のほか、日銀に対する信頼度や金融政策の認知度についても聞いている。政策運営の参考にするため1993年に始めた。対象者は4千人で、調査票を郵送して回答を得ている。

1年前と比べた
現在の物価に対する実感
上がった 89.0%



1年後の物価に対する見方
上がる 87.1%



無回答

前回調査から1・5倍上昇
上がり 87.1%

見方が広がっている。生活
意識アンケートの物価上昇
率は生活必需品の値動きに
左右されやすく、多くの項目
を網羅した消費者物価指数
よりも高くなる傾向がある。
現在の暮らし向きが1年
前と比べて「よじがなく
なってきた」との回答は、
前回調査から1・5倍上昇

の43・2%だった。理由を複数回答で聞いたところ、「物価が上がったから」が3人から回答を得た。

物価が1年前と比べてど
うして数値で回答を求めた
ところ、平均ではプラス8
・1%だった。1年後の予測

の平均はプラス8・3%と
なり、物価上昇が続くとの
見方が広がっている。生活
意識アンケートの物価上昇
率は生活必需品の値動きに
左右されやすく、多くの項目

を網羅した消費者物価指数
よりも高くなる傾向がある。
現在の暮らし向きが1年
前と比べて「よじがなく
なってきた」との回答は、
前回調査から1・5倍上昇

の43・2%だった。理由を複数回答で聞いたところ、「物価が上がったから」が78・9%で最も多かった。一方、収入を示す指數は物価高を受けた9・8倍上昇する7倍の伸びにとどまった。

個人の景況感を示す指數は3・1は改善のマイナス50・7。改善は2四半期ぶり。

日銀の黒田東彦総裁は6月、「家計の値上げ許容度も高まってきた」と発言しました。その後、撤回した。アン

ケートでは、現在の物価が上がったとの回答のうち、「どう

ちらかと見えば困った」と
上昇して82・9%を「あた」